

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団
2011年（平成23年）度事業報告
〔2011年（平成23年）4月1日～2012年（平成24年）3月31日〕

毎日新聞大阪社会事業団、2011年度のトピックス



100周年記念フォーラム開く

2011年度は本事業団創立100周年を迎え、9月17日に100周年記念フォーラム「支え合い 1世紀」を毎日新聞ビル地下のオーバルホールで開催。「映像でたどる100年」の上映や国連難民高等弁務官事務所オハン・セルス駐日代表が「難民・世界規模の課題と日本の役割」=写真と題して講演し、100年間の歴史を振り返った。



公募助成100周年事業特別枠決まる

公募助成事業では児童福祉施設を出た後の子どもたちのアフターケア事業に取り組む団体に助成する「100周年記念事業特別枠」を設け大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部 和歌山県児童養護施設協議会 社会的養護の当事者推進団体なごやかサポートみらい(名古屋市) 全国自立援助ホーム協議会(名古屋市)の4団体に160万円を助成。大阪で始まったアフターケア事業が和歌山県や名古屋市へも拡大された。=写真は和歌山県の講習会の様子



東日本大震災被災者救援への取り組み

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、13日に社告で東日本大震災被災者救援金を募集。2012年3月末までに4億3,627万円を日本赤十字社や岩手、宮城、福島県に寄託した。

児童図書を贈る運動

4月末からは「東日本大震災で被災した子どもたちに本を贈る『いっしょだよ』キャンペーン」(略称:児童図書を贈る運動)を大阪国際児童文学館などと展開。12年3月末までに2455万円が寄せられ地震

と津波、原発事故で被害のあった4都県の保育園や幼稚園、小中学校など339カ所に1万9039冊の児童図書を贈呈した。

毎日希望奨学金



5月には震災で保護者を亡くした子どもたちの学業支援をする給付方式の「毎日希望奨学金」制度を創設。2012年3月末までに3億3933万円が寄せられ、月額2万円の奨学金が156人の高校、高専、短大、大学、専修学校生に給付された。2011年度の奨学金支給総額は3744万円。2012年4月以降には新1年生を中心に新規募集をし、11年度からの継続者とともに奨学金を支給する。

題字と絵は西原理恵子さん

公益事業 1 国内外の福祉に関する事業

「社会福祉のために」などと寄せられた一般寄付金は3月末日現在で384件1,153万円（小児がんを含む）。歳末の「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」の売上と歳末義援金の合計2,965万円、毎日新聞社寄付金126万円を加え、総計4,275万円となった。これらの寄託金を基に次の事業を行った。

主催事業

毎日新聞大阪社会事業団創立100周年記念フォーラム「支え合い 1世紀」

毎日新聞大阪社会事業団創立100周年を記念したフォーラムを9月17日、大阪市北区梅田の毎日新聞オーバルホールで開催した。8月20日付毎日新聞紙面社告で読者らに参加を呼びかけた。第1部は「映像でたどる事業団の100年」毎日映画社制作の映像を上映。第2部は「東日本大震災取材報告」東京本社写真部の手塚耕一郎記者と大阪本社社会部の津久井達記者、コーディネーターの氷置恒夫大阪本社編集局次長が「被災地の現場から」と題して報告。第3部は国連難民高等弁務官事務所ヨハン・セルス駐日代表が「難民・世界規模の課題と日本の役割」と題した講演を行った。会場には約300人が集まり、国内外の救援・支援の歩みを振り返った。

（主催公演事業 事業区分17）＝記事資料

児童福祉に関する事業

主催事業

（主催公演事業 事業区分17）

「施設児童就職予定者研修会・児童福祉施設から就職する生徒に祝い金贈呈」（支払負担金より96万円を支出）

大阪府内の児童養護施設から中学、高校などを卒業して就職する生徒を対象に、社会人としての心構えなどを聴く研修会を2月4日、大阪市天王寺区で開催した。また、その会場で大阪府内の児童養護施設から中学校、高校を卒業して就職する96人（全員）に激励の意味を込め祝い金を1人1万円ずつ贈呈。社会福祉法人大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部、大阪府社会福祉協議会と共催。本団は祝い金贈呈を担当。（研修会は1975年～・祝い金は1962年～）

この他、大阪府社会福祉協議会と大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部共催で本団が単独後援した自立生活技術講習会（ソーシャル・スキル・トレーニング）が7月～2月まで年11回開かれた。

（キャンペーン事業事業区分8）

「母の日・父の日募金キャンペーン」（支払助成金より42万円を支出）

「プレゼントをあげる親がもういない」という声をきっかけに始まった「母の日・父の日募金キャンペーン」。5月17日、6月8日付毎日新聞紙面で募金を呼びかけ、24万円が寄せられた。この中からNPO法人児童虐待防止協会へ30万円（一般寄付金より17万補てん）。あしなが育英会に12万円を贈呈。

共催分担金事業

（その他特定団体や弱者への救援事業 事業区分18）

平成23年度ゆうゆう（フルト・シップ）キャンプ（支払負担金より40万円を支出）

1997年からの事業で15回目。大阪府青少年活動財団、府下の児童家庭相談室と共催し、被虐待児童を対象に、共同生活を通じて自立心や社会性を育てることを目的としている。奈良県吉野町宮滝での2泊3日のキャンプなど年3回（宿泊1回、日帰り2回）の野外活動を実施。

大阪交通遺児を励ます会との近畿地方ボウリング大会（支払負担金より60万円

を支出)

6月26日、大阪交通遺児を励ます会と共催。大阪市北区梅田の桜橋ボウルで近畿各地の交通遺児、病氣遺児、災害遺児とその家族ら90人が交流した。=記事資料

第44回八チ北林間ホーム(支払負担金より10万円を支出)

8月8日~10日。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。大阪市が管轄する児童福祉施設の6年生を兵庫県香美町の八チ北高原での2泊3日の野外学習に招待した。=記事資料

第43回新春こども大会(支払負担金より10万円を支出)

大阪市が管轄する児童福祉施設の子どもたちが冬休みに練習した踊りや演劇などを発表する「新春子ども大会」を大阪市の天王寺区民ホールで1月29日に開催した。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。

第26回駅伝・ロードレース大会(支払負担金より5万円を支出)

大阪市が管轄する児童福祉施設の小・中学生300人が参加する駅伝ロードレース大会。2月4日、吹田市の弘済のぞみ園グラウンドで開催。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。

第39回北摂児童養護施設連盟 北摂子ども大会への助成(支払助成金より10万円を支出)

北摂地域の児童養護施設などに暮らす子どもたちのスポーツ大会。12月4日、茨木市公園(北)グラウンド、日頃の練習の成果を披露し、他施設との親睦を深めた。

児童施設に絵を贈る運動

子どもたちの情操教育のために「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」に寄せられた中から絵画を愛知、岐阜、三重、京都の8児童養護施設に贈った。

児童福祉特定団体助成・支援事業(文末のカッコ内は:支払助成金または経費)

* 母子生活支援施設「母と子の一泊旅行」=7月2~3日、大阪府民間母子生活支援施設連絡協議会の主催。本団が単独で助成後援した。大阪府内の2民間母子寮の母子44人を、和歌山・白浜温泉と白浜アドベンチャーワールドへのバス旅行に招待した。(28万円)

* 平成23年度琵琶湖セツルの家=7月1日~8月31日。大阪市地域福祉協議会の主催。滋賀県大津市青柳浜の琵琶湖畔に宿泊施設を開設し、保育所、児童館、子供の家などの利用者に開放。本団が単独で助成後援。(8万円)

* 「2011年ふれあいキャンプ」の後援と助成=愛の手運動(里親さがし運動)を展開する家庭養護促進協会が主催する小学1年生以上の里子を対象としたキャンプ。8月21~23日。徳島県阿南市のY M C A阿南国際海洋センター。本団が単独で助成後援。(18万円)。

* 平成23年度「第58回児童福祉施設スポーツ大会」の後援と助成金=8月24日~25日、名古屋市の大高緑地公園野球場(1万円)

医療福祉に関する事業

(キャンペーン、月間事業 事業区分8)

「小児がん征圧キャンペーン」(支払助成金より180万円を支出)

毎日新聞社と展開しているキャンペーン「生きる--小児がんのこどもたちとともに」と連動した「小児がん征圧募金」は4月~2012年3月末までに73件68万円が寄せられた。(1996年からの継続事業)大阪社会事業団からは3月に贈呈式を開き、

次の6団体に各30万円を贈呈した。=記事資料

チャイルド・ケモ・ハウス(茨木市)

日本クリクラウン協会(大阪市)

近畿小児がん研究会(吹田市)

京都大学医学部附属病院小児科ボランティアグループ「にこにこトマト」(京都市)

京都ファミリーハウス(京都市)

あいち骨髄バンクを支援する会(名古屋市)。

高齢者福祉に関する事業

主催事業

(助成「応募型」)事業 事業区分13)

配食サービス車贈呈事業(車両費用165万円・支払助成金より支出)

国際高齢者年の1999年から始めた「配食サービス車贈呈事業」は、3月から毎日新聞紙面などで一般公募し4団体からの応募があった。6月に外部の選考委員による選考委員会があり京都府綾部市のNPO法人「ともの家」に決定。9月27日に「ともの家」で贈呈式を開き配食車1台を贈った。=記事資料

心身障害者福祉に関する事業

共催分担金事業

(その他特定団体や弱者への救援事業 事業区分17.18)

第14回視覚障害者ICT・サポートボランティア講習会(支払負担金より30万円を支出)

1997年度からの事業で日本ライトハウス情報文化センターと共催。視覚障害者の情報環境を支える機器(インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー)を利用する視覚障害者に操作方法などを教える指導者養成のための講習会を5月~7月の金曜日、全8回を開講。社告で受講者を募集。ボランティア10人が受講した。

第24回専門図書点訳・音訳講習会(支払負担金より100万円を支出)

専門図書の点訳、音訳の技術を修得するための講習会で、日本ライトハウス情報文化センターと共催。専門点訳は「写真・図表」「漢文」。専門音訳は「東洋医学」「英語」「音声デジター」コースを開講。受講後は点訳・音訳ボランティアとして活躍してもらう。

専門音訳講習会「東洋医学コース」5月6日~7月1日。全5回。15人。

専門音訳講習会「英語コース」5月13日~7月1日。全6回。13人

専門点訳講習会「写真・図表コース」9月2日~10月21日。全6回。21人。

専門点訳講習会「漢文コース」11月1日~12月6日。全6回。19人

専門音訳講習会「音声デジターコース」2012年3月28、29日。2回。15人。

2011年度「声の点字毎日」の発行を支援(支払負担金より10万円を支出)

全国の国立ハンセン病療養所で生活している視覚も皮膚感覚も失った人たちに点字新聞を発行している点字毎日の「声の点字毎日デジター版(月2回発行)」を寄贈する事業。費用の内、東京・西部社会事業団とともに分担した。

(表彰、コンクール事業 事業区分14)

「全国盲学校弁論大会」(支払負担金より20万円を支出)

第80回全国盲学校弁論大会が10月14日、大阪市立視覚特別支援学校で開かれ、和歌山県立和歌山盲学校高等部普通科の中麻さんが優勝した。毎日新聞社点字毎日、全国盲学校長会と共催。本団は2002年度から共催に加わった。(1928年~)

心身障害者特定団体助成・後援事業(文末のカッコ内は:支払助成金)

* 第36回わたぼうし音楽祭

8月7日、奈良市の奈良県文化会館で開かれ、わたぼうし大賞に大阪市鶴見区の小林聡(45)さん作詩、富山市のほんだすぐるさんが作曲した「空からのキャスティング」が選ばれた。奈良たんぼぼの会主催の同音楽祭を毎日新聞社とともに本団が後援、助成した。(20万円)

*「第39回愛知心理療育キャンプ」の助成

8月18~23日、愛知県西尾市吉良町のNPO癒しの宿福の神吉良の庄。(3万円)

*「アジア太平洋わたぼうし音楽祭」を助成

「アジア太平洋わたぼうし音楽祭」を2年に一度アジア太平洋の各地で開催。2011年11月タイ・バンコクで開催予定だったが、タイ洪水のため2012年2月29日に延期した。アジア太平洋の12カ国地域が参加しタイ・バンコクの国立劇場で開催。同音楽祭実行委員会に毎年、音楽祭事業費として100万円を支出。また、本団と奈良支局から職員と記者を派遣。費用12万円も支出。(100万円)(1991年~)=記事資料

*「第46回全大阪ろう社会人軟式野球秋季大会」の後援と記念盾、賞状の贈呈=7月17、31日、大阪府営久宝寺緑地公園軟式野球場など(1万円)

*名古屋市視覚障害者協会機関紙「のぞみ」第32号の発行助成(3万円)

他の社会福祉事業団体の事業助成

(助成(応募型)事業 事業区分13)

「公募福祉助成金制度」(支払負担金より360万円を支出)

国内外の地域で福祉活動に取り組む団体や先駆的事业でどこも援助先がない団体への一般公募の事業助成金制度。今回は児童福祉施設のアフターケア事業に取り組む団体に助成する「100周年記念事業特別枠」を設け11月に紙面で告知。1月26日に選考委員会を開催。下記の9団体に総額360万円を贈呈した。

公募福祉助成金 全国視覚障害者情報提供施設協会島根あさひ事業所 神戸真生塾子ども家庭支援センターロータリー子どもの家 たんぼぼの家 関西骨髓バンク推進協会 ひだまり

100周年記念事業特別枠 大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部 和歌山県児童養護施設協議会 社会的養護の当事者推進団体なごやかサポートみらい 全国自立援助ホーム協議会 =記事資料

その他目的を達成するに必要な事業

(表彰、コンクール事業 事業区分14)

「毎日社会福祉顕彰」(支払負担金より164万円を支出)

毎日新聞大阪社会事業団創立60周年記念事業として始め、41回目。社会福祉の分野で献身的な活動をしている個人、団体を顕彰する。毎日新聞紙面などで公募し5月末に応募を締め切り、厚生労働省や大学教授らからなる審査会を経て次の3団体が選ばれた。贈呈式は10月3日、毎日新聞東京本社で行われ、賞牌と賞金(1件につき100万円)を贈った。添付資料=

NPO法人「きぼうのいえ」=山本雅基理事長

東京・山谷で末期がんや重病を抱える人たちにホスピスケア施設を運営。

社会福祉法人「佛子園」=雄谷良成理事長

石川県で福祉施設の経営と地ビールレストランなど障害者の働く場の提供を進めるなどオリジナルな事業の展開。

今川社会福祉協議会ボランティア部=澤田博子部長

大阪市内で永年にわたり「福祉の街」を育て地域を支えてきた。(1971年~)

(キャンペーン、 月間事業 事業区分 8)

「歳末たすけあい運動」

11月3日～12月22日にかけて「歳末義援金募集」や「チャリティー名士寄贈書画工芸作品 入札・即売会」などの催しを実施。義援金や収益金で歳末慰問金品や公募福祉助成金を贈る。= 記事資料

* 「歳末義援金募集」

社告やこれまでの寄付者へのダイレクトメールで歳末義援金を募った。寄せられたのは668件822万円（昨年949件、1870万円）で前年度より 1,048万円減。11年度の歳末慰問金のほか、12年度の公益事業1（国内外の福祉に関する事業）の資金として活用する。

* 「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」

12月9～11日、毎日新聞ビル地下のオーバルホールで開催。一般福祉事業の主要な財源となるため、著名作家の作品獲得にも力を入れた。売上は前年度比314万円減の2,044万円となった。1936年からの継続事業。

以上の事業の収益から歳末慰問金として次の団体に55万円を贈呈した。

(支払助成金より55万円を支出)

大阪更生保護施設連盟

大阪家庭少年友の会

真盛学園 (児童養護施設・三重県津市)

梅ヶ丘学園 (同 ・愛知県豊田市)

合掌苑 (同 ・岐阜県郡上市)

(児童養護施設には所蔵絵画 8点を贈った。)

* 「第44回歳末たすけあいチャリティー囲碁まつり」

12月11日、スポーツニッポン新聞社、日本棋院が主催、本団の単独後援、大阪市北区で開催。寄託された10万円から囲碁セット5組を製作、漫画「ヒカルの碁」全23巻とともに2月に京都府内の5児童福祉施設に贈呈。所蔵絵画各1点ずつも贈った。

(支払助成金より5万円、経費より5万円を支出)

「指定寄付金事業」

寄付金の中で助成先が特定された寄付金。「あしなが育英会に」「愛の手運動に」など15件30万円が寄せられた。

その他の名義後援事業(54件)

「第9回わかこ-世界点字作文コンクール」= 2011年3月～5月に募集。11月に表彰式

「第48回全大阪ろう社会人軟式野球春季大会」= 4月3日、5月29日、大阪市桜之宮野球場・大阪府久宝寺緑地軟式野球場

「ハリアリ-2011」= 4月14日～16日、大阪市住之江区のインテックス大阪

「平成23年度愛知県障害者スポーツ大会」= 4月16日、5月14、21、22、28日、名古屋市千種区の星ヶ丘ホールなど

「第29回日本ライトハウス チャリティコンサート」= 4月23日、大阪市北区のザ・シンフォニーホール

「第31回愛知県聴覚障害者体育大会」「第31回愛知県聴覚障害者野球大会」レプリカ・賞状交付について= 4月24日、愛知県岡崎市中央総合体育館などで軟式野球は中央総合公園市民球場

「第43回せんりこどもカーニバル」= 04月29日、大阪府吹田市の千里南公園一帯

「第8回名古屋市障害者スポーツ大会」= 5月8日～11月27日、名古屋市瑞穂公園陸上競技場など

「第14回国際福祉健康産業展～ウィルワールド2011」= 5月20日～22日、名古屋市のポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）

「第18回共生・共走ル-マラソン」= 5月29日、大阪市鶴見区の花博記念公園

「共に生きる15」= 6月4日、大阪府箕面市の市立メイプルホール
 第10回全国LD親の会公開フォーラム「発達障害のある人の自立・社会参加に必要なこと」= 6月19日、大阪市中央区のドーンセンターホール
 「第61回施設従事者激励会」= 6月21日、大阪市中央区の大阪「松竹座」
 「2011体験 COMVO - 夏のボランティア活動 - 」= 7月1日～8月31日、大阪市内の児童、高齢者、障がい児者施設や団体など。
 「第28回愛知県聴覚障害者大会」= 7月3日、愛知県大府市の大府市勤労会館
 合同求人説明会「福祉の就職総合フェア2011 in OSAKA」= 7月9日、大阪市住之江区のインテックス大阪2号館
 第32回公募作品 太洋美術展の後援と賞状の提供 = 7月12日～17日、神戸市中央区の兵庫県民会館アートギャラリー
 「第24回全愛知ろう社会人軟式野球秋季大会 兼 第36回全日本ろう社会人軟式野球選手権大会予選選考会」の名義後援と楯の交付について = 7月16日～17日、愛知県瀬戸市民公園野球場
 「第32回子どもたちの讃歌展」= 7月18日～23日、大阪市中央区の府立現代美術センター展示室A
 「第19回障害者の明日を語り合うつどい」= 7月24日、神戸市中央区の神戸市医師会館3F市民ホール
 「全国障害者問題研究会第45回全国大会（大阪）」= 7月30、31日、大阪市北区の大阪国際会議場、羽曳野市の四天王寺大学
 「鯖街道キャンプウォーク2011」= 8月05日～07日、京都から小浜に通じる鯖街道。
 「第28回土と水と緑の学校」= 8月8日～13日、和歌山県新宮市の高田地区一帯
 大阪養護教育振興会「平成23年度（第34回）特別支援教育講座」= 9月2日～12月16日、大阪市阿倍野区の市立阿倍野市民学習センター
 第50回近畿知的障害者福祉大会（併設 第6回神戸市手をつなぐ育成会大会）= 9月4日、神戸市中央区の神戸文化ホール中ホールなど
 「第45回全国ろうあ者体育大会」= 9月15日～18日、名古屋市、刈谷市、安城市、稲沢市
 「第52回大阪知的障がい者福祉大会」= 9月25日、和泉市の和泉シティプラザ
 生き生き長寿フェア2011「はつらつ健康プラザ」= 10月08日、愛知県大府市・東浦町のあいち健康の森公園
 第48回点字毎日文化賞 = 10月21日、毎日新聞東京本社で授賞式（NPO法人「六星」の斯波千秋理事長が受賞）
 ファインアーツフェスティバル2011 = 10月23日、堺市南区の大阪府立障害者交流促進センターなど
 第39回全大阪ろうあ者文化祭 = 10月23日、大阪市長居障害者スポーツセンター
 第59回愛知県社会福祉大会 = 10月26日、名古屋市中区の愛知県体育館
 第30回スポーツフェスタ2011大阪 = 10月29、30日大阪市長居第2陸上競技場
 大阪市福祉就職・進学フェア = 10月29日、大阪市社会福祉研修センター
 第47回肢体不自由児者を支援するチャリティバザー = 11月12、13日、大阪府八尾市山城町1丁目第1公園
 第15回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会 = 11月19、20日、京都市北区大谷大学
 やわた作業所・ほっと・きろろん後援会20周年記念事業 = 11月20日、京都府八幡市の八幡市文化大ホール
 大阪救護施設合同文化事業 = 11月22日、大阪市都島区の太閤園迎賓館
 平成23年度大阪府委託医療社会事業従事者講習会 = 11月25、26日、大阪市中央区の大阪府社会福祉会館
 平成23年度「介護の日記念 福祉の就職フェアAUTUMN in OSAKA」= 11月25日、大阪市天王寺区の国際交流センター
 平成23年度大阪府社会福祉大会 = 11月25日、大阪市天王寺区の大阪国際交流センター
 第18回マリエーション絵画・創作展 = 11月30日～12月03日、大阪市北区の大阪市立総合生涯学習センター
 第51回愛知県身体障害者福祉大会 = 12月11日、愛知県岡崎市岡崎中央総合運動公園総合体育館
 第56回名古屋市身体障害者福祉大会 = 12月18日、名古屋市公会堂
 第29回ふれあいの街・チャリティバザー = 12年01月11～17日、堺市・高島屋堺店

第31回「障害のある子どもに学ぶ」図工展 = 12年01月26～31日、大阪市長居障害者スポーツセンター
 無料人間ドック = 12年01月23日～02月4日、名古屋市中村区の毎日ドックで、65歳以上の人を対象に無料健康診断を実施。
 福祉の就職フェアWINTER in OSAKA = 12年2月05、11、18日、大阪市淀川区の区民センターほか
 第46回名古屋市障害者作品展示会 = 12年02月21～26日、名古屋市瑞穂区市立博物館ギャラリー
 素のままフェスタ2012 = 12年02月25日、大阪府豊中市の市民会館大ホール
 安心して長期療養ができるように！難病患者の医療・福祉・介護を考える府民のつどい = 12年02月26日、大阪市中央区のエル・おおさか
 第30回耳の日記念聴覚障害者と県民の集い = 12年03月04日、名古屋市昭和区の名古屋市公会堂
 第27回肢体不自由児者の作品展 = 12年3月7～10日 = 大阪市中央区のドーナツセンター
 第50回衛生教育大阪大会、第54回公衆衛生大阪大会 = 12年03月26日、大阪市天王寺区、大阪府病院年金会館

公益事業2 シンシア基金事業

(キャンペーン、月間事業 事業区分8)
 シンシア基金

身体障害者をサポートする介助犬への理解を深め、育成や研究活動に役立てるため1998年から阪神支局が始めたキャンペーンと連動して募金を開始した。2012年3月末までに寄せられた「シンシア基金」は32件102万円となった。

第13回身体障害者補助犬シンポジウム(支払助成金より32万円を支出)

身体障害者補助犬の社会的認知を促進するため、毎日新聞や宝塚市などで行う実行委員会が主催する身体障害者補助犬シンポジウム(11月27日、宝塚市のアピアホールなど)の経費を助成。

(助成(応募型)事業 事業区分13)

シンシア基金公募助成事業(支払助成金より97万円を支出)

身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)支援に関わる団体などに対する公募助成制度。11月に紙面で一般公募し、1月26日に選考委員会を開催。次の3団体に97万円を贈呈した。

社会福祉法人日本介助犬協会(本部は東京都、訓練センターは愛知県)

宝塚補助犬支援の会(兵庫県宝塚市)

社会福祉法人日本ライトハウス盲導犬訓練所(大阪府)

公益事業3 災害救助に関する事業

「災害救援基金事業」

東日本大震災救援事業

* 東日本大震災被災者救援金(支払助成金より3億8,627万円を支出)

3月11日に発生した東日本大震災では、3月13日に毎日新聞紙面で「東日本大震災救援金」募集の社告を掲載し救援金を募った。3月末までに2,643件2億5,084万円(11年3月末4,171件1億9,649万円この中から3月24日に5,000万円を日本赤十字社に寄託:2010年度で支出済み)寄せられた。

第2次分、4月18日 4,627万円(岩手、宮城、福島県に各1,000万円・日本赤十字社に1,627万円)

第3次分、5月10日 2億円 日本赤十字社

第4次分、7月10日 1億円 日本赤十字社
 第5次分、9月28日 2,800万円 日本赤十字社
 第6次分、3月23日 1,200万円 日本赤十字社
 今期分の大阪社会事業団の寄託額は3億8,627万円
 (2011年度からの合計では4億3,627万円)になった。 = 記事資料

* 東日本大震災で被災した子どもたちに本を贈る「いっしょだよ」キャンペーン(支払助成金より2,256万円を支出)

4月26日から東日本大震災で被災した子どもたちに本を贈る運動「いっしょだよ」キャンペーン、略称:「児童図書を贈る運動」(毎日新聞大阪・東京・西部社会事業団、財団法人大阪国際児童文学館、大阪府書店商業組合、毎日新聞社主催)への募金を呼びかけた。3月末までに1,525件24,555,999円が寄せられ、6月に1,000万円、7月に500万円、9月に450万円、12月に170万円、12年3月に136万円の合計2,256万円を大阪国際児童文学館に贈った。

紙面などで呼びかけた本の寄贈先は、福島、岩手、宮城県などの幼稚園、保育園、児童館、小学校、中学校、仮設の集会所など300件を超える申し込みがあり、次のように届けた。 = 記事資料

第1次分 9月13日 宮城・福島県16カ所872冊
 第2次分 10月5日 岩手、宮城、福島県、東京都(JBBY「あしたの本プロジェクト」)60カ所3,400冊
 第3次分 11月25日 岩手、宮城、福島県55カ所4,385冊
 第4次分 1月25日 岩手、宮城、福島県186カ所8,865冊
 第5次分 2月10日 岩手、宮城、福島県19カ所928冊
 特別配布 3月 岩手、宮城、福島の県立図書館3カ所589冊
 計339カ所19,039冊

* 毎日希望奨学金制度(支払助成金より3,744万円を支出)

5月4日、東日本大震災で保護者を亡くした震災遺児を支える「毎日希望奨学金」制度を毎日新聞大阪・東京・西部社会事業団、毎日新聞社で創設。奨学金基金への募金を毎日新聞紙面などで呼びかけた。3月末までに7,595件3億3,933万円(東京・西部分の425件1,941万円を含む)が大阪社会事業団に寄せられた。

6月28日に第1回の毎日希望奨学金運営委員会が東京で開かれ、東日本大震災で保護者(父または母ら)が死亡・行方不明になり、学業継続が困難になっている高校生、高等専門学校生、短大、大学生、専修学校生、50人を対象。月額2万円を正規の最短卒業年度まで給付(返還の必要はなし)など。毎日希望奨学金給付規定や選考委員会規定、運営委員会規定、選考委員の選出、事業計画が承認された。

7月1日付け毎日新聞朝刊で「毎日希望奨学生を募集」の社告を掲載するとともに被災地の高校や大学などに直接照会をかけた。50人の応募枠に対して159人が応募。9月6日に奨学生選考委員会が開かれ、全員一致で159人(他の奨学金制度で併給受給がためなため、辞退者が3人。最終的には156人)に支給が決定した。

10月に2,808万円(156人×4月~12月の9ヵ月分×2万円)
 2012年1月に936万円(156人×1~3月の3ヵ月×2万円)
 合計3,744万円の奨学金を給付した。 = 記事資料

台風12号被災者救援金(支払助成金より1,115万円を支出)

9月に奈良、和歌山、三重などを襲った台風12号被害では、9月8日に毎日新聞社告で「台風12号被災者救援金」を募った。3月末までに736件、1,123万円が寄せられた。10月に奈良、和歌山、三重県に計890万円、12月と3月に和歌山県へ合わせて225万円を贈った。

その他の名義後援

東日本チャリティ「吉岡耕二版画展」=9月2日~13日、大阪市北区の芝田画廊。

公益事業 4 国際協力に関する事業

(キャンペーン、 月間事業 事業区分 8)

世界子ども救援キャンペーン

おもな事業は、毎日新聞社との共催事業で記者を海外に派遣、帰国後に紙面連載で救援をアピールする「世界子ども救援キャンペーン」。国際児童年(1979年)に「飢餓・貧困・難民救済キャンペーン」としてスタートし、アジア、アフリカ地域などに記者を派遣。今年度は社会部堀江拓哉記者、写真部小川昌宏記者をパキスタンに2012年3月に派遣した。

東京本社が記者を派遣したルポ「南スーダン ゼロからの出発」を3月18日～22日まで5回にわたり紙面連載。内戦後の実情を報告、救援をアピールした。

= 記事資料

* 「写真展および写真パネルの貸し出し」

写真をパネル加工(22枚一組)し、団体、学校などに募金を条件に7団体に無料貸し出しをした。

* 「世界子ども救援金」

読者らから寄せられた「世界子ども救援金(海外の災害救援金を含む)」は3月末現在、577件、503万円。一般公募の「公募助成分」、これまでの取材地への「継続支援助成分」の2つの助成を行った。いずれも活動内容、実績などから選考している。= 記事資料

(助成(応募型)事業 事業区分13)

「世界子ども救援金」公募助成制度 (支払助成金より250万円を支出)

海外での支援活動を行う団体を11月に紙面で一般公募、1月26日に選考委員会を開催。次の7団体に総額250万円を贈呈した。

1. 日本国際ボランティアセンター(アフリカ・スーダン、南コルドファン州での大規模紛争による避難民・難民に対する緊急プロジェクト)
2. 幼い難民を考える会(カボ・ジヤの子どもたちへの給食・健康支援事業)
3. スリランカ子供基金パウラ(スリランカの子どもたちへの奨学金支援)
4. マムニ母子寮関西連絡所(バングラデシュ・チッタゴンにあるマムニ母子寮での子ども支援)
5. ネパールヨードを支える会(ネパールでのヨード欠乏症に悩む子どもたちへの支援)
6. NGOアフリカ友の会(中央アフリカ共和国でのHIV感染者や子どもたちへの支援)
7. シエラレオネフレンズ(シエラレオネでの子どもたちの支援活動)

「世界子ども救援金継続支援助成」

3団体へ総額150万円を贈呈(支払助成金より150万円を支出)

継続支援分

1. マイシャ・ヤ・ヲ基金(ケニア・ナイロビのキハララムで活動する早川千晶さんが運営に関わっている「マコジスクール」の支援母体)
2. 国連UNHCR協会(国連難民高等弁務官事務所・UNHCRソマリア難民支援)
3. 石田勝子を励ます会(コンゴ民主共和国コンクンデ福音医療センターで活動する石田勝子さん支援)

海外の災害救援金

読者から寄せられた「ニュージーランド地震救援金」「トルコ地震救援金」「タイ洪水被害救援金」11万円を日本赤十字社とAMDAに贈った。

以上